

## 流域下水道管の破損に伴う汚水の流出事故について

### 1 要旨

令和5年9月11日、三原市本郷町船木において、下水道管の破損により、汚水が流出し、その一部が二級河川沼田川へ流れ込む事故が発生した。その対応状況について報告する。

### 2 事故の概要

場 所：三原市本郷町船木（県道瀬野川福富本郷線 堂谷橋付近）

内 容：汚水（生活排水）の沼田川への流出

原 因：腐食による下水道管の破損

影 響：汚水の流出量は少量のため、河川の水質への影響はない見込み。

〔広島県水道広域連合企業団において、沼田川の取水箇所において水質検査を実施し、異常がないことを確認（3時間ごとに水質検査を実施）〕

### 3 対応状況

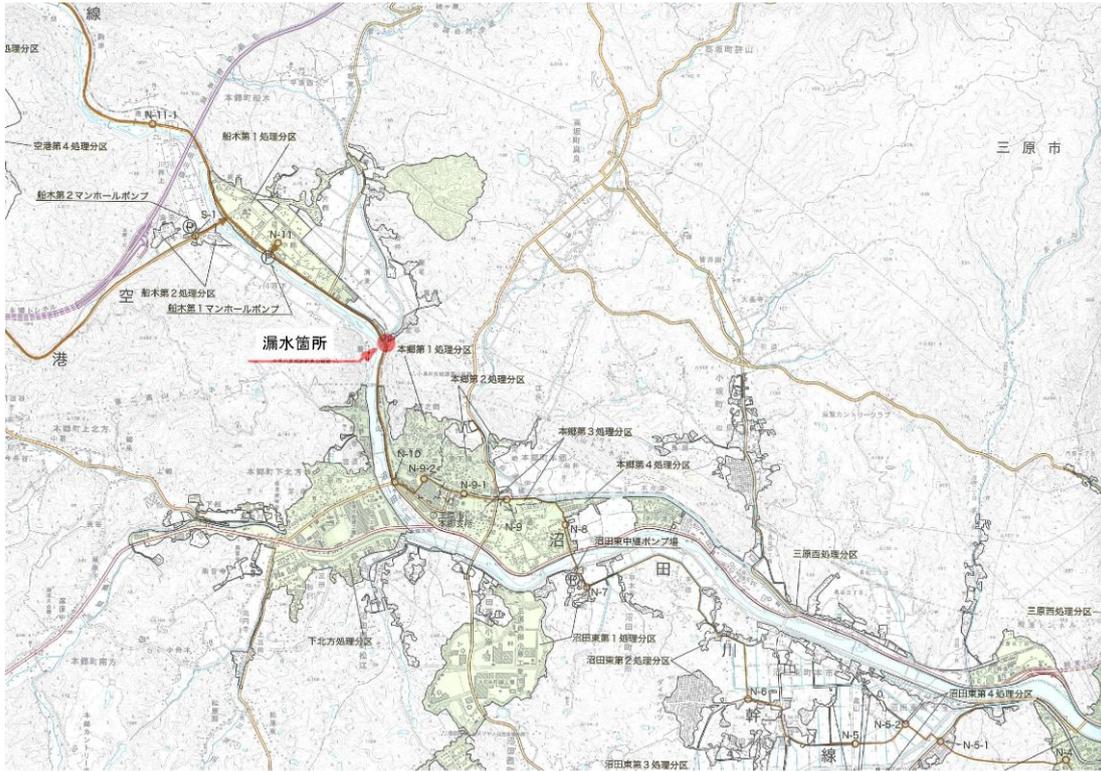
令和5年9月

11日(月)	17時頃	沼田川へ汚水らしきものが流出している旨、県東部建設事務所三原支所維持課から連絡
	18時30分頃	流域下水道施設の維持管理業者が現地確認したが、汚水かどうか確認できなかった。
12日(火)	10時	各施設の管理者が改めて現地確認したところ、汚水であることを確認
	11時以降	関係機関への連絡、関係業者への依頼・調整
	19時	河川への汚水流出を防止するため、バキューム車による汚水の吸引作業を開始（河川への流出は停止）
13日(水)	8時30分	堂谷橋付近の道路を掘削し、原因調査を開始 下水道管が破損し、流出した汚水が県道の下を侵食しているのを確認（県道の片側通行規制を開始）
	15時	破損した下水道管の応急復旧作業に着手
	21時30分	下水道管の応急復旧完了 ※ 翌朝まで県道状況の監視を継続
14日(木)	9時	県道の補修作業に着手

### 4 今後の対応

耐用年数を経過する前の下水道管の破損であり、現場の状況や腐食原因を分析し、今後の管路の維持管理や再発防止の取組に反映する。

## 5 位置図



## 6 状況写真



(下水道管の破損状況)

### (参考) 施設の概要

区分	仕様
管の種類	ステンレス管
管の口径	直径 400mm
設置年度	1991年 (32年経過)

※ 下水道管の法定耐用年数 50年